



## 【湯築小学校】

<第6学年：SDGs～わたしたちにできること～>

6年生は、世界の課題に対し、今、どんなことが問題であるのかを話し合い、その課題において、自分の考えや他者の意見や考えとの比較をしながら、自分がこれからどうしていくか具体的に考えた。17の目標の中でも、とりわけ多かったのが、「5 ジェンダー平等を実現しよう」「12 つくる責任 つかう責任」の2つだった。個々に調べた情報を収集して、グループ内で伝え合い、それらをもとに発表資料を作成し、クラスで発表会をした。学習を通して、「学校のトイレのスリッパが男子が水色、女子がピンクというのはおかしいと思う。」「個性を認め合うことが大切だ。」とか、「持ち物を大切に使いたい。」「古くなって捨てるのではなく、再利用の方法を考えたい。」など、少し意識するだけで、日常の生活に取り入れられることがたくさんあることに気付き、一人一人が身近にできることから始めていこうとする意識が育った。



<第4学年：やさしい町ゆづき>

4年生は、防災活動や福祉活動に関わっている人などから、どのように命を守り、様々な立場の人と支え合っていくことの大切さを学んだ。命の教室、福祉体験活動を通して、みんなが、住みやすい町にするために自分にできることを考え、実践の意欲を高めた。

また、校内のバリアフリーについて調べた後、道後の町や商店街などに行き、町中の点字ブロックやスロープなどのバリアフリーについても調べ、ロイロノートで撮影し、考えたことをまとめ、発表した。いろいろな個性をもった人たちと共に生きるダイバーシティについて考えを深めた。

